

○ご家族へのお願い

家族や友人など、慣れ親しんだ人との会話は、不安を感じておられる患者さんにとって、大きな安心となりますので、付き添いなどでご協力をお願いいたします。

普段に近い環境で安心していただくためにご準備ください

- ・カレンダーや時計
- ・家族の写真
- ・ラジオ、好きなCD、趣味の道具
- ・補聴器、メガネ、入れ歯



○対応のヒント

■何を話しているかよくわからない

×「それは違うじゃないか、入院してるんだよ！」

○「そんなふうを感じるなら、心配になるよね」

→つじつまの合わない話をしたときには、無理に間違いを正す必要はありません。

■いつも通りの落ち着いた言葉かけをお願いします。

■わからなかったり、お困りのことがありましたら、ご遠慮なく看護師におたずねください。



せん妄についてのご説明



○せん妄とは？

せん妄では、次のような症状があらわれます。

- つじつまの合わないことを話す
- 怒りっぽくなる、そわそわして落ち着かない
- 場所がわからない、家族のことがわからない
- 変なものが見える
- 説明しても、理解しない
- 意識がぼんやりしたり、逆に夜に眠れない
- 認知症？気がおかしくなった？
- なんとなく、様子がおかしい。

興奮しておかしなことを言ったりするだけでなく、何となく活気がない程度の症状で、ご家族でないとわかりにくいような場合もあります。

○どうしておこるの？

病気により体の調子が悪くなることで、脳も調子が一時的にわるくなるのが原因です。治療のお薬や、環境、持病なども影響することがあります。

認知症と誤解されやすい症状が現れますが、全く別のもので、原因がよくなれば元にもどります。



○せん妄になると・・・

せん妄は突然発症し、1日のなかでも調子の良い時間や、悪い時間があります。予想できない行動をとることがあり、転倒してのケガ、治療に必要なチューブを抜いてしまうなど、ご本人にとって危険な状態になることがあります。

ご本人は、寝ぼけたようなぼんやりした感じになり、周囲の状況などが飲み込めず、不安を強く感じる人が多いようです。

○どのように治療することができるでしょうか？

せん妄はもともとの病気と密接に関連しています。まず病気の治療がうまく行くことが大切です。

その上でせん妄の症状を改善するために、以下のようなことを行います。

- ・ 治療を円滑に行うために、興奮を鎮めたり夜によく眠れるようなお薬
- ・ 感染症や酸素不足、水分不足の治療
- ・ 不快な症状（痛み、息苦しさ、ねつ）などの緩和
- ・ 昼夜のリズムの改善
- ・ 普段慣れた環境に近づけて安心していただく工夫
- ・ 治療に必要なチューブ類の保護、転倒によるケガ等を防ぐための、センサー・安全柵や必要最小限の身体抑制

次のページにつづきます

